

各自応募 29-104
申請はWEBにて
申請書はダウンロード
推薦書要(指導教官)
↳博士課程の学生のみ

【公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団】

平成 29 年度 助成研究募集要領

公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団は「人間と遊び」という視点に立った科学技術の研究助成をすることを主な目的として、平成 4 年に設立され平成 23 年に公益財団の認定を受けた法人です。

この視点に立脚した研究開発等を対象に、設立以来途切れることなく、毎年広く研究助成を展開してまいりました。

本年度は、下記の要領で研究助成の対象者を募集いたします。多数の研究者のご応募をお待ちしております。

記

1. 研究助成の対象分野

ゲームの分野の研究を助成する「助成研究 A」、人間と遊びに関する研究を助成する「助成研究 B」及びゲームに関する「国際交流(参加)」を助成対象の 3 分野とします。

※ 本件助成は、広く社会一般の「公益」に資する研究等に対して助成を行うものです。従って、特定の業界や愛好者団体の「共益」をめざす研究は助成の対象になりません。

※ 本年度は、国際交流=ゲームに関する国際会議の「開催」に対する助成は行いません。

2. 研究課題

(1) 助成研究 A=ゲームの分野の研究に対する助成

① 重点研究

「超高齢化社会におけるゲームデザイン」

ゲームは古くからある人々の娯楽であり、一人で、グループで、あるいは多人数で楽しむゲームもあります。勝ち負けに一喜一憂し、負けても気持ちをリフレッシュさせてくれるゲーム。それは現代のようにデジタル化される以前から机上で、広場で、体を使ってなど多くのゲームが行われてきました。

ゲームの IT 化が進む一方、高齢化社会が進展し、「枯れた高齢者」ではなく自分なりの価値観をもち、仕事や趣味に意欲的な元気な世代が急増し、その市場は経済的にも無視できない存在になっています。高齢者向けのゲームというと、振り込め詐欺の予防などの学習効果や認知症予防の等の医療効果を目的としたものが多く、ゲームをゲームとして楽しめるものは少ないように思われます。この傾向はわが国のみならず世界的な趨勢であり、ここに一石を投じる研究を期待するものです。

加齢への配慮は行いつつも高齢者をアツくさせる面白いゲーム、我を忘れて没頭したくなるゲーム、複数の世代間を結びつけ楽しめるゲームなど、純粹に娯楽として繰り返し楽しめる、単なる伝統的な遊びのデジタル化に留まらないゲームのアイデアや技術的な提案を求めます。

※ 研究分野を問いません。例えば、文系・理系あるいは両者の融合分野において、新しいゲームの開発やゲームの遊び方を対象とする研究を期待します。

※ 研究方法を問いません。例えば、シリアスゲーム、ゲーミフィケーション、ゲーミングのように、ゲームの新たな可能性を切り開く研究を期待します。

※ 研究形態を問いません。例えば、複数の研究者による共同研究、また、研究者を中心とする一定の条件下での産業界との共同研究も期待します。

② 基礎的・基盤的研究

「ゲームの本質に関する研究」、「ゲームと人間に関する研究」

「ゲームと社会に関する研究」及び「ゲームと技術に関する研究」

(2) 助成研究 B=「人間と遊び」に関する研究に対する助成

「遊びの本質及び影響に関する研究」、「遊びの社会的諸活動への応用に関する研究」及び「助成研究 A 又は B のいずれの課題にも属さない『人間と遊び』の研究」

(3) 国際交流=遊び・ゲーム等に関する国際会議等の活動に対する助成

「応募者が遊び・ゲーム等に関する国際会議に「参加」する費用」

※ 2回にわたって募集しますので、募集対象期間や条件等をお間違えなくご応募ください。

※ 助成対象の国際会議は、遊び・ゲーム等をテーマとする国際会議です。但し、国際会議全体テーマだけでなく、国際会議の分科会やシンポジウムに上記の

テーマが含まれる場合も助成対象とします。

※ 応募者が口頭発表、ポスター発表を行う場合、あるいはシンポジスト等をつとめ、研究発表を行う場合に限りです。

単なる参加だけの場合は、助成対象としません。

※ 研究発表等の採択が未定でも、本助成に応募することが出来ます。又、助成決定後に研究発表が不採択となった場合でも、事情により助成することがあります。

※ 助成費目は、参加費と、航空運賃や鉄道運賃等の交通費、宿泊費・食事代等の滞在費の全部または一部です。

3. 募集条件

(1) 応募資格

国内の大学院、大学、短大、高専、専門学校及び非営利の研究機関等に所属する研究者又はこれらの機関に所属する研究者を代表者とする共同研究グループ

※ 研究者には大学院博士課程在籍者を含みます。但し、指導教員の推薦が必要です。

(2) 研究助成額

① 助成研究 A：総額 2660 万円（1 件当たり 500 万円）以内

② 助成研究 B：総額 980 万円（1 件当たり 100 万円）以内

③ 国際交流：総額 70 万円以内

(3) 研究期間

平成 30 年 3 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日の 1 年間

※ 研究期間の特例

助成研究 A であって 2 年間で必須とする研究についてのみ、申込をすれば例外的に 2 年間助成を承認することがあります。この場合は、約 1 年経過後に研究成果中間報告書を提出すると共に選考委員会に出席して口頭報告していただき、選考委員会がこれを中間評価して研究継続の可否を決定します。

助成額は、総額 500 万円以内、各年度 300 万円以内とします。

※ 国際交流

第 1 回：平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日に開催される国際会議

(第 2 回：平成 30 年 6 月 1 日～平成 30 年 11 月 30 日に開催される国際会議)

国際会議の初日が助成対象の国際会議の開催期間に含まれていれば、当該の

募集期間に応募してください。例えば、国際会議の開催期間が平成 30 年 5 月 29 日～6 月 2 日の場合は、第 1 回目の募集期間に該当します。

(4) ヒトを対象とする研究

採択された際には、所属機関の倫理審査を受けること及び採択された研究の成果報告の際には、倫理審査を受けた旨を明記することを誓約していただきます。

4. 応募方法

(1) 応募期間

平成 29 年 7 月 15 日～平成 29 年 10 月 15 日

※ 国際交流

第 1 回：平成 29 年 7 月 15 日～10 月 15 日

(第 2 回：平成 30 年 1 月 15 日～ 4 月 15 日)

(2) 提出書類

助成研究の申込書：指定様式

研究内容の計画書：指定様式

研究実績の申告書：(論文・受賞等) 代表論文又は代表作品 3 点以内を添付

※ 様式・記入方法等の詳細は、当法人のウェブサイト(7.当財団への連絡の項参照)で確認してください。

(3) 応募方法

当財団ウェブサイトの応募ページから申し込んでください。

5. 審査・採択

(1) 審査方法

非公開の学識経験者 9 名からなる選考委員(委員長のみ公開)が、次の 2 段階により慎重に審査して、事実上の決定をします。

① 事前審査：各委員が 2 人一組となり、分担して応募書類を閲読して行う。

② 本審査：事前審査結果を基に、委員全員の会議形式により行う。

(2) 最終決定及び発表

理事会は、選考委員会の答申を尊重して平成 30 年 1 月中に最終決定し、同月中に結果を当財団ウェブサイト上で発表します。

(3) 研究費用の提供

「研究助成条件同意書」の提出等当財団の定める手続きの完了を条件として、平成 30 年 2 月中に全額を提供します。

6. 助成を受けた研究者の義務

(1) 研究報告書等の提出

研究(代表者)は、研究終了年の 4 月末日までに、当財団の指定様式により研究報告書、研究報告書概要及び会計報告書等を提出しなければなりません。

(2) 研究成果発表会への出席及び発表

研究代表者は、研究終了年の 9 月中に当財団が開催する「研究成果発表会」に出席し、指定された方法で成果を発表しなければなりません。

※ 国際交流への助成を除く

7. 当財団への連絡

住所：〒104-0061

東京都中央区銀座三丁目 15 番 8 号 銀座プラザビル 6 階

名称：公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団

助成研究募集担当

URL：http://www.nakayama-zaidan.or.jp

☎：03-6226-6161

e-mail：info@nakayama-zaidan.or.jp

8. 個人情報の取り扱いについて

申込に係る個人情報は、審査のために必要な範囲で特定の関係者に開示する

ほかは公表しません。但し、採択決定者につきましては、当財団ウェブサイト上で氏名、所属機関及び肩書を公表します。

以 上